

ふるさと通信 Vol. 58

2015年11月

低温と日照不足のせいか、瀬祭向けの山田錦（酒米）の刈り取りが大幅に遅れて作業の段取りがくるってしまいましたが、堆肥撒きに秋打ち、緑肥にする牧草の種蒔き、ソバ刈りと、目白押しだった秋の作業も残すは有機の秋打ち1町のみとなり、天候が大崩れする前に目処が立ったのでホッとしているところです。日に日に秋の色が深まり、気温もぐっと下がってきたので、今年は冬の訪れも早そうです。最後の草刈りに様々な機械のメンテナンスと格納。今後は冬に向けた準備を進めます。



親父と堆肥撒き。まだまだ頼りになり助かります。

朝晩はかなり冷え込むようになったので、飯前作業は縮こまりながら。



親父チームは共同でソバの収穫。収量はサッパリのようにでしたが、親父の打つ新蕎麦が楽しみです。



農道脇にすずなりのアケビを発見！子どもの頃、自分で採っておやつにしたのを思い出しました。



赤トンボが産卵期を迎え、天気の良い日は一所懸命に田んぼの水たまりに卵を産んでいます。



指を立てて立っていると赤トンボが留まるので嬉しそうな瞳。絶滅が心配される地域が増えているそうですが、神田にはいっぱい飛んでいます！

11月のオマケは、バアバの畑で穫れた里芋です。煮物や味噌汁にどうぞ。体があつたまると思います。冬に向け風邪の流行る季節になりました。やはり手洗いとうがいが一番予防に効果があるようです。ご自愛ください。それでは、今後ともよろしくお願ひいたします。

2015年10月31日 金谷 武志

ホームページ：<http://www.kanaya-farm.jp/>

Eメール：info@kanaya-farm.jp

日々の農作業の様子や地域の情報は、下記フェイスブックページ“有機栽培米の金谷農場”で発信中です！

<https://www.facebook.com/kanayafarm.jp>

瀬祭向けの山田錦は10月17日ようやく稲刈り終了。なかなか一筋縄ではいかない面白い稲ですね。

